

# リサイクルデザイン

R E C Y C L E   D E S I G N

2013  
No.228

9

横浜型地域貢献企業  
最上位認定取得

特集 ＊ 親子で出かけよう! 秋の工場見学会



親子で出かけよう！



# 秋の工場見学会



昨年7月号の工場見学の特集では、崎陽軒と麒麟ビールをご紹介して大好評をいただきました。

そこで、今回も横浜市内にある企業の工場見学を取り上げ、見どころをご紹介します。

予約がすぐ埋まる人気の高い見学会なので、お申し込みは早めにしてください。



## 日産自動車

横浜工場



1 エンジンの動く仕組みを解説した実物模型。ビデオで解説映像も流れる。2 趣のあるゲストホール2階の廊下。左右に並ぶ部屋はかつて重役室だった。3 1基で約450点にもなるエンジンの部品を展示。4 1935年製造の7型エンジン。5 ミュージアムには各種のエンジンを展示。6 いろいろなエンジンの部品を展示。

日産自動車の創業の地で  
日本の車の歴史をたどる

日産自動車の横浜工場は、1933年(昭和8年)に日産が創業した地でもあります。見学コースとなっているゲストホールは、創業時には本社事務所棟として利用されていたそうで、外観も含めて当時とほとんど変わっていません。この建物は、横浜市の歴史的建造物に認定されており、経済産業省の近代化産業遺産にも指定されています。

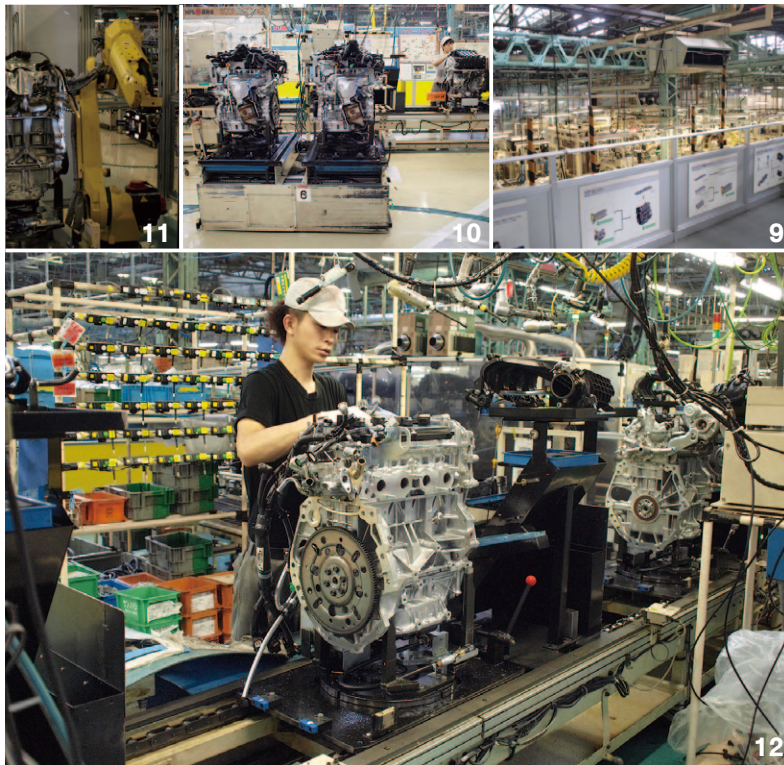
見学はこのゲストホールの2階からスタート。エンジンの組立を解説したビデオ上映のあとは、日産自動車の歴史や歴代の日産車のミニカーなどが並ぶ展示室に進みます。横浜工場の紹介や日産が取り組んでいる最新の環境技術についての解説パネルも展示されています。

続くエンジンミュージアムには、歴代のエンジンが並んでいます。名車といわれた1936年製造のダットサン(15型ロードスター)の実車や搭載されていた7型エンジンは必見です。ほかに、自動車産業の黎明期に製造された初期のエンジンから





見学者には工場のパンフレットや日産車のカタログと一緒にミニカーがもらえる。工場には日産グッズを販売する売店などはないが、日産のオンラインショップ (<http://shop.nissan.co.jp/>) や本社にある日産ブティック (<http://www.nissan.co.jp/GALLERY/HQ/FLOORMAP/BOUTIQUE/>) で購入できる。



7 ゲストホール2階の日産の歴史と横浜工場の歴史紹介コーナー。  
8 エンジンミュージアムに展示された1936年製造のダットサン15型ロードスター。9 工場内を高密度にレイアウトされた組立ラインは、上から見学できるようになっている。10 工場内にはさまざまな部品を載せた無人運搬車が行き交っている。11 組立ラインの最後には正しく組み立てられているかをロボットが自動的に検査する工程もある。12 組立後半の重要部分は人が行う。13 工場で実際に採用されている改善事例を紹介するコーナー。体験コーナーもある。



## 日産自動車 横浜工場

📍 神奈川県横浜市神奈川区宝町2

☎ 045-461-7090

🌐 <http://www.nissan.co.jp/INFO/FACTORY/YOKOHAMA/detail.html>

【見学】 月～金曜日の午前と午後の2回。所要時間約120分。

8名以上からの申込み。詳しくはHPをご確認ください。

大排気量化・高性能化が進んだエンジン、そして環境対策を施した最新のエンジンなど、変遷をたどることが出来ます。

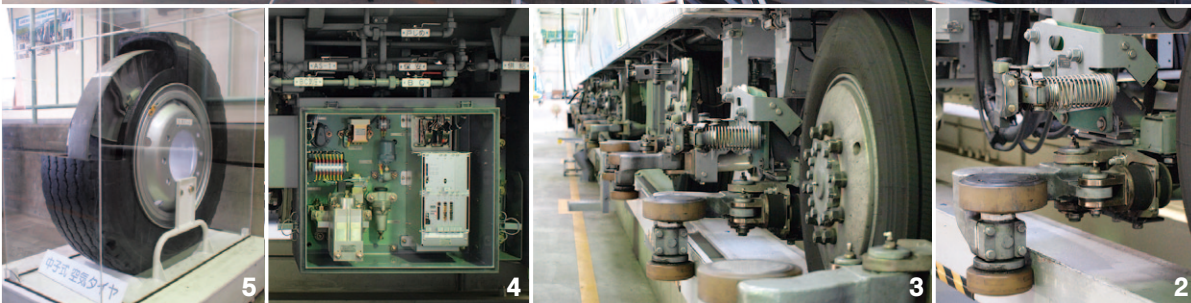
そしていよいよ工場内の見学。横浜工場ではエンジンの組立を行っています。最新の「MR型エンジン」の組立ラインは、ほとんど自動化されており、ロボットが次々とエンジンを組み立て、通路には無人運搬車が部品や完成したエンジンを載せて自動走行しています。重要ポイントや自動化できない部分には人が配置されていますが、工場内に人の姿がとて少ないことに驚きます。組立ラインの最後にはロボットと人による各種の検査が行われます。この工場では組立エラーが発生する確率は100万分の1以下なのだそうです。工場内には組立ラインで採用されている「改善」の実例も展示されています。作業を早く正確に行うための工夫として、軍手をしたまま小さなボルトを必要な数だけ取り出す装置など、優れた工夫に思わず驚嘆の声が上がります。ランプの指示に従って時間内に正確にネジを締める体験コーナーもあります。





# 横浜新都市交通

シーサイドライン車両基地



**タイヤで走る電車の  
司令所と車両基地を見学**

シーサイドラインは新交通システムと言われ、都内を走る「ゆりかもめ」と同じで、軌道にはレールがない無人運行で、新杉田駅と金沢八景駅の10・6kmを約25分かけて走行しています。

見学コースは、まず本社2階の受付でシーサイドラインの仕組みや見学の注意事項など聞いてからスタートします。無人走行中の電車はコンピュータで制御されていますが、それを行っているのが司令所。ここにはさまざまな種類の制御盤とモニターが並んでいます。線路上にいるすべての電車の現在位置を示す「列車運行表示盤」や各駅のカメラによる乗降の映像を表示する「TVMモニター」などがあり、電車と各駅の状況をリアルタイムにコントロールできます。例えば、駅で小学生の集団が乗降する時などは、モニターを見ながら司令所でドアの開閉時間を調整しているそうです。

## 横浜新都市交通 シーサイドライン車両基地

〒 神奈川県横浜市金沢区幸浦2-1-1  
☎ 045-787-7014  
🌐 [http://www.seasideline.co.jp/guidance/base\\_visit/](http://www.seasideline.co.jp/guidance/base_visit/)

**【見学】** 月～金曜日の10時と13時の2回。  
所要時間約60分。8名以上からの申込み。詳しくはHPをご確認ください。



駅ではホームドアがあるので、車体を見る機会は少ないと思いますが、車両基地では間近で見ながら説明を聞きます。よく見るとゴムタイヤをつけた電車の姿はちょっと不思議な感じがします。パンタグラフやエアコンなどが屋根ではなく、車体の下についていることや、タイヤのゴムの中に金属の車輪が入っていて、パンクしても走行できるようにになっているなど、びっくりすることがたくさんありますよ。



1 車両全体。ドアの位置は意外に高く、ハシゴがないと届かない。2 下から出ているのは電車が軌道から外れないようにする案内輪で、上から出ているのがパンタグラフ。3 車両の側面にはムカデの足のように案内輪とパンタグラフがたくさん突き出ている。4 点検のために開けられていた配電盤。5 タイヤの模型。ゴムの中に車輪が隠れているのがわかる。6 各駅の様子が映し出されているモニター群。7 電車の正確な運行を管理するコンピュータの一部。8 司令室はまるでNASAの管制室か秘密基地のよう。9 車両基地の全景。10 軌道にレールはなく、側面には電気を探る架線が張られている。11 見学ではグッズも購入できる。人気はダイヤブロックの2000型車両。8月からシーサイドラインのキャラクター「キラキラ☆シーたん」(写真下)のグッズも発売。すべてのグッズは駅や通信販売でも購入可能。



- 見学曜日：火曜日・木曜日(祝日を除く)
- 見学所要時間：約60～90分
- 受け入れ人数：10～40名
- 申込方法：FAXまたはEメール
- 連絡先：TEL：045-444-2531 FAX：045-444-2532  
E-mail：mail@recycledesign.or.jp
- ホームページ：http://www.recycledesign.or.jp/rpy/

本誌を発行している横浜市資源リサイクル事業協同組合では、古紙のリサイクル工場「リサイクルポート山ノ内」を運営しており、工場見学会も随時受け付けています。

見学の内容は、古紙選別作業や古紙を圧縮梱包するジャンボプレス機、古紙・古布の輸出入作業などがあります。ほかにも、名物講師によるリサイクル講座や古紙を積んだトラック

「こと重さを量る計量器なども見どころのひとつです。」

見学会に参加していただいた方々からは、「説明の内容が具体的にわかりやすかった」「間違っていた部分を見直すことができた」「分別が何故必要なのか納得でき、より一層気を付けようと思った」「ごみの分別体験はクイズ感覚で学ぶことができて楽しかった」などの感想もいただいています。自治会・町内会はもちろん学校・地域での環境教育等の機会にどうぞ活用ください。

## 当組合が運営する 古紙のリサイクル工場

# リサイクルポート山ノ内



# 始めよう! 3R夢なくらし

第3回

## 使い捨て容器を減らそう! ～「マイボトル」・「リユース食器」の利用を!～

暑い夏も終わりに近づき、秋の気配が感じられるこの時期、絶好の行楽シーズンを迎えるとともに、地域ではお祭りやイベントなど楽しい催し物が多くなってきます。

そこで、今回は、缶・びん・ペットボトルなどの使い捨て商品や使い捨て容器を減らしていく取組について、ご紹介します。

### マイボトルを持って出かけよう!

外出先では、ペットボトルなどに買った飲み物を買う機会が多くなります。国民1人あたりにすると、ペットボトルは、1年間に約180本(500mlボトル換算)<sup>\*</sup>も使っていると言われています。正しく分別すれば資源としてリサイクルされ、それはとても大切なことですが、リサイクルする時にもエネルギーを使い、CO<sub>2</sub>が発生します。マイボトルを利用すれば使い捨て容器の消費を減らすことができ、だけでなく、保温機能があるので、長く、おいしさを保つことができます。

また、横浜市内には、マイボトルへのコーヒーやお茶などの販売や水などの提供を行う「マイボトルスポット」が数多くあり、外出先でマイボ

トルの飲み物を飲みきってしまったときなどに使えるスポットが増えています。

お出かけの際には、ぜひバッグにお気に入りのマイボトルを。

※PETボトルリサイクル推進協議会資料等より算出



マイボトルスポットマーク

マイボトルスポット

検索

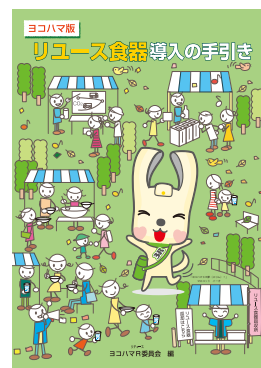
<http://www.r-hiroba.jp/torikumi/bottlespot.html>

### リユース食器でイベントもエコ!

地域のお祭りや楽しいイベントが終わると、大量の使い捨て容器のごみが出ます。これらのごみをなんとか減らせないかと思ったことはありませんか。使い捨て容器の代わりに、繰り返し洗って使用できるリユース食器を使うことで、ごみを減らすことができます。リユース食器は、コップ、皿、お碗のほか、箸、スプーンなどがあり、事業者からレンタルし、使用後に返却するのが一般的な利用方法です。

横浜市ではリユース食器の普及が進むよう、リユース食器を導入する際の準備段階から当日の作業までをわかりやすく記載した「リユース食器導入の手引き」を平成25年4月に作成しました。区役所に置いているほか、ホームページからダウンロードできますので、ぜひ一度ご覧いただければと思います。

環境にやさしいイベントを目指し、ごみを減らすことができるリユース食器に切り替えてみてはいかがでしょうか。



リユース食器導入の手引き

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shigen/sub-shimin/reuse-shokki/>







# RD NEWS

## 「神奈川リサイクルジュニアサミット」が視察報告会を開催

神奈川リサイクルジュニアサミットは、7月13日(土)、ホテル横浜ガーデンにおいて東日本大震災の被災地視察報告会を開催しました。報告会には、当組合のほか、神奈川県内(神奈川県、横須賀市、厚木市、鎌倉市、茅ヶ崎市)のリサイクル関連団体の青年部から総勢42名が参加しました。

スライドを用いた報告では、未だにコンクリート基礎だけが一面に残っている住宅街の様子や企業が早期復興するためのポイントなどを紹介。また、多くの支援により実感した「絆」の重要性などが伝えられ、震災についてより一層の理解を深めることができました。



今回の視察を通して「まだ復興は終わっていない」「震災を風化させてはいけない」「自分たちのできることをできる範囲で行う」ことを実感。被災地への継続的な支援活動が、ジュニアサミットの一つの柱になることを予感させる報告会となりました。

## 皆さんの小学校や自治会で「リサイクル教室」を開催しませんか？

リサイクルデザインでは、無料で「リサイクル教室」を実施しています。現場で働いているリサイクル業者が、横浜市内の小学校や自治会・町内会の皆さんの元に出向き、講義します。受講者からは「とても丁寧でわかりやすい」「実物を提示し体験しながら教えていただけたので、とても興味を持って取り組めた」などと大変ご好評をいただいております。

なぜごみと資源を分けるのか、横浜市の基本的な分別の知識を学んでいただき、古紙や古布、鉄、スチール缶、アルミ缶、ガラスびんなどいろいろな種類のリサイクルについてわかりやすく、楽しく解説しています。

分別や3Rの再確認、学校の環境教育、自治会・町内会の環境学習として是非ご利用ください。



●お問い合わせ・お申し込み先  
横浜市資源リサイクル事業協同組合  
事務局 山中  
TEL : 045-444-2531  
E-mail : mail@recycledesign.or.jp

### ●次号予告

10月号は  
「秋のイベント」の特集だよ！



#### 月刊リサイクルデザイン

2013年9月号 通巻228号 2013年8月25日発行

発行所：横浜市資源リサイクル事業協同組合  
〒221-0054 横浜市神奈川区山内町13番地  
TEL : 045(444)2531 / FAX : 045(444)2532  
http://www.recycledesign.or.jp

発行人：高田哲二 編集人：藤本達也 印刷：大日本印刷株式会社  
発行部数：89,600部

本誌は古紙70%の再生紙と環境にやさしいNonVOCインキ、油性インキ「SOYA-eシリーズ」を使用しています。

VOC  
FREE

### 小結くん

牛乳パックから再生した紙ひもです。新聞や雑誌を束ねるときに使えば丸ごとリサイクルできるので手間と時間が省け、ごみ減量にも貢献します。

バラ売り 1巻き(90m) 230円  
箱売り 1箱(50巻入り) 10,500円  
(10箱以上は1箱8,500円に割引)



### ●お問い合わせ・ご注文

横浜市資源リサイクル事業協同組合 事務局 山中  
TEL : 045-444-2531 E-mail : mail@recycledesign.or.jp



仕事を通じたさまざまな出会いを大切にしながら  
社内コミュニケーションの潤滑剤として  
常に積極的に、前向きに、仕事を楽しむ！



Recycle Designer Profile

**TAKERU UCHIDA 18**

ナカノ株式会社リサイクル部事業企画室CR担当課長。繊維リサイクル事業を柱とする同社のフィリピン工場立ち上げに関わる。いつも前向きなコミュニケーションの達人。

横浜市資源リサイクル事業協同組合 広報企画委員会